

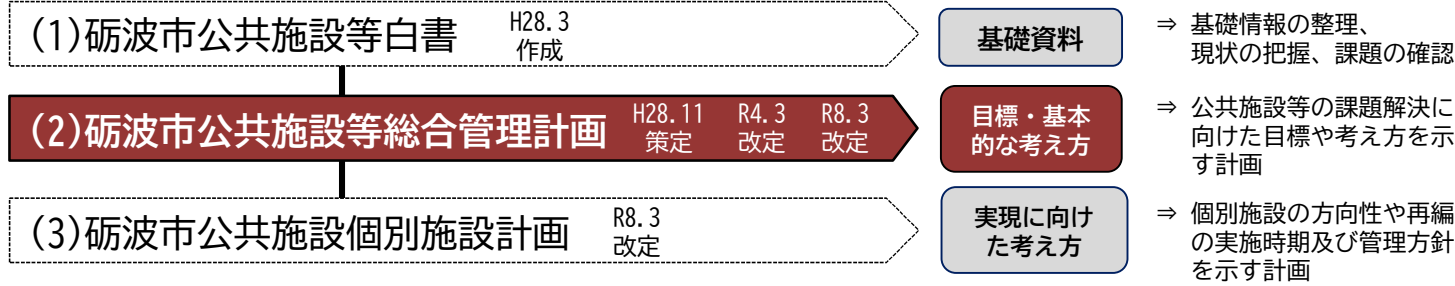


# 砺波市公共施設等総合管理計画 概要版

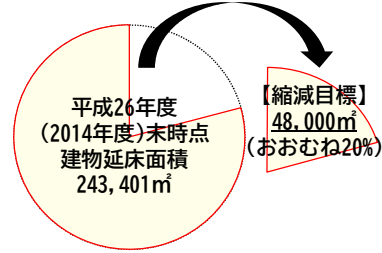
～持続可能な公共サービスの提供に向けて～

令和8年3月

## 1 計画の概要



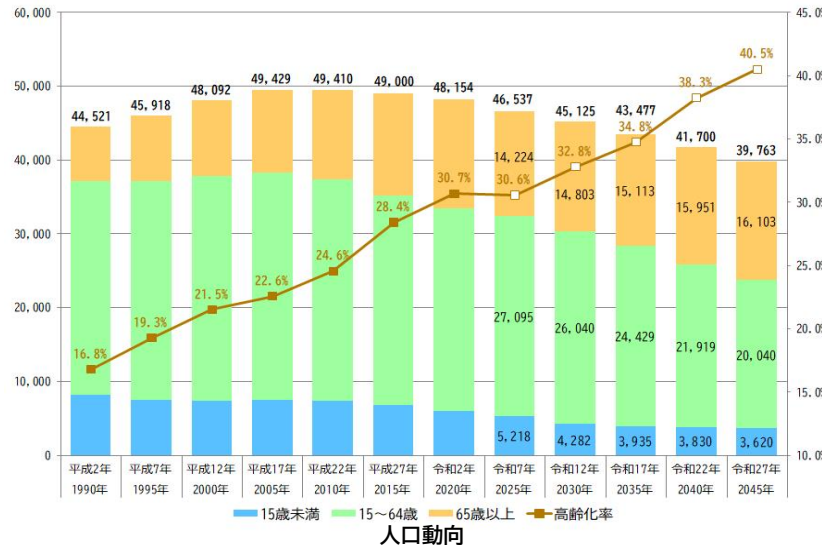
- 計画の目的  
将来にわたって持続可能な公共サービスの提供
- 計画の期間  
平成28年度(2016年度)～令和27年度(2045年度)の30年間
- 対象範囲  
本市が管理する公共施設及びインフラ
- 計画の目標  
(1) 公共施設の総量縮減(約48,000㎡)  
これまでに11,742㎡を縮減し、進捗率は約24%となっています。  
(2) インフラの長寿命化と更新費用の平準化  
各インフラの長寿命化計画に基づき、将来にわたって適切に機能を維持できるように取り組んでいます。



## 2 現状や課題に関する基本認識

### (1) 人口減少及び少子高齢化

人口減少による需要の減少や人口構成年齢の変化によるニーズの変化が想定されます。そのため、需要の変化に対して、公共施設等のあり方を見直す必要があります。



### (2) 公共施設等の老朽化

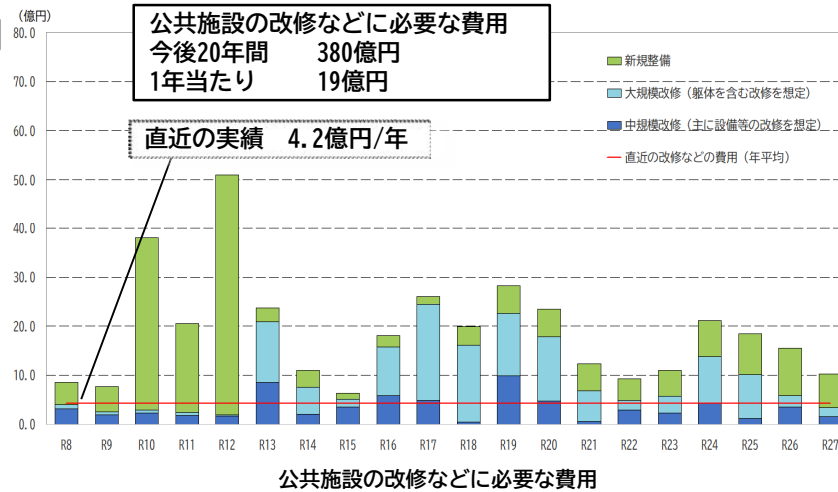
有形固定資産減価償却率が年々上昇しており、公共施設等の老朽化が進んでいます。そのため、これからも長期間活用する公共施設等は、将来的に改修などが必要となります。

施設分類	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
公民館	75.1%	79.6%	81.2%
市民会館	75.1%	77.1%	78.1%
図書館	10.5%	10.5%	14.1%
体育館・プール	49.7%	50.2%	54.2%
学校施設	55.3%	57.7%	60.1%
認定こども園等	56.0%	54.1%	53.2%
児童館	90.4%	91.6%	89.9%
福祉施設	51.8%	54.5%	56.5%
庁舎	80.2%	80.9%	82.5%
消防施設	81.1%	82.1%	79.8%
公営住宅	63.2%	65.3%	66.3%
道路	73.3%	74.2%	76.6%
橋梁、トンネル	69.7%	70.5%	72.1%
水道	37.8%	38.2%	38.6%
下水道	5.7%	8.4%	10.9%

有形固定資産減価償却率

### (3) 公共施設等の改修などに必要な費用

直近の改修などの費用の実績に対して、今後20年間の改修などに必要な費用が上回っています。特に公共施設ではその差が大きく、将来的に改修などの財源不足が懸念されます。そのため、改修などの費用を縮減する取り組みが必要となります。



## 3 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

### 基本的な考え方

- (1) 統合や廃止の推進方針  
各施設の機能を、統合や複合により集約化し、更新費用の縮減に努めます。
- (2) 点検、診断などの実施方針  
計画的に行い、安全確保や劣化状況を把握し、老朽化対策に生かします。
- (3) 維持管理・更新などの実施方針  
個別施設ごとに管理方針を定め、効率的な維持管理・更新に努めます。
- (4) 安全確保の実施方針  
公共施設等に高度の危険性が認められた場合は、安全性が確保されるまで使用を停止します。
- (5) 耐震化の実施方針  
これからも長期間活用する未耐震の公共施設等は、耐震化を検討します。
- (6) 長寿命化の実施方針  
これからも長期間活用する公共施設等は、長寿命化を推進し、更新費用の平準化に努めます。
- (7) 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針  
公共施設等のマネジメント意識向上のため、研修会などへの参加を推進します。
- (8) ユニバーサルデザイン化の推進方針  
公共施設等の更新などを行う際には、ユニバーサルデザイン化を推進します。
- (9) PPP/PFI活用についての方針  
公共施設等の管理運営や更新については、PPP/PFIの活用を努めます。
- (10) 脱炭素化の推進方針  
照明LED化や太陽光発電設備の導入など、省エネルギー対策や再生可能エネルギーの活用に努めます。
- (11) 未利用資産などの活用や処分に関する基本方針  
未利用資産などは、民間などへの売却や譲渡を検討し、総量縮減と民間などでの利活用を推進します。
- (12) 広域連携  
近隣自治体と公共施設の利用状況や再編見直しに関する情報を共有し、効率的な施設運営に努めます。

※青字で記載した(10)(11)(12)は国の指針に基づき、新たな視点として追記しています。